

未来を創る家族のチカラ! 幸運を引き寄せる愛天愛人愛国の生活

# 「神様を愛する」

真の父母様自叙伝心の書写&孝情フェスティバル 2020年11月15日(日) 於:浜松北家庭教会

抜けるような秋晴れの青空が輝く11月15日、「第61回真の子女の日」ならびに「第33回宇宙統一国開天日」の良き日に「真の父母様自叙伝 孝情オープン礼拝」を開催いたしました。

今回のテーマ「神様を愛する」のみ言にふさわしく、コロナ禍で先が見えない重苦しい空気を吹き飛ばせるように、天の父母様と真の父母様を精一杯賛美し、喜びと感謝の心を捧げました。

## 証し「自叙伝書写によって生活習慣が変わった」

家庭青年の姉妹が証しをして下さいました。教会に導かれて学ぶ中で、お酒、タバコは良くないと言われましたが、人に迷惑をかけるわけでもないのに何故

いけないのか理解できず、そのまま続けていました。ある日、親子で親子セミナーに参加し、み言を学ぶことで、自分が神様から愛されていることを実感し、とても復活しました。しかし、日常の生活に戻れば、それまでと同じ生活習慣に戻っていました。

いつものようにタバコを吸っていたとある時に、「自分は神様に愛されているのに、神様を裏切って悲しませるようなことをしている」という思いがこみ上げてきて、それと同時にその時に行っていた「意志さえあればできないことはない」という書写のみ言が頭をよぎりお酒、タバコを辞める決意ができました。そして、神様をより近く感じられるようになり、愛天愛人愛国の家庭生活を習慣にできるように変わりました。心の書写と愛天愛人愛国の家庭生活の実践を通して、習慣を変えることで、幸福はただ待つだけではなく、自ら引き寄せることができることを実感しましたと、素直で温かい素晴らしい証しを通し、聞く方々が自分も実践してみたいと希望を感じることができました。神様を悲しませる行いを辛く感じる心をご覧になられる神様がどれ程喜ばれたかと感動しました。



## 特別講話「神様を愛する」

はじめに「日本一泣ける漫才」という動画を視聴しました。ある売れない漫才師が結婚式で披露した漫才は、苦勞して女手一つで育ててくれ大学まで出させてくれたのに漫才師になることを応援してくれたお母さん、こんな自分を選んでくれた愛する花嫁、こんな自分に愛娘を嫁がせてくれる花嫁のご両親への感謝の思いを涙ながらに語り、泣きながら花嫁を幸せにすることを誓う感動的な内容で、みんなで心が洗われるような涙を流しました。我が子の幸せを何よりも願う心に触れ、親なる天の父母様と真の父母様に思いを馳せる、感謝の時間となりました。以下は講話の内容です。

日本人にはピンとこない神様ですが、欧米諸国では明確な宗教を持たない人は社会的に信用されない文化があります。

古代イスラエルと日本の密接な関係について、諏訪大社、守屋山などイスラエルと酷似した様々な事柄から、日本人の信仰の基礎はイスラエルからきていることを紹介してくださいました。日本語では意味がよく分からない「君が代」の歌詞をヘブライ語に直すと意味が通じるなど、面白くて興味深い内容がわかりました。

私達は生かされている存在なので常に感謝する心を持ち、愛によって生まれ、愛の中に生き、愛の中へ帰ることが幸福につながると語って下さいました。

## 抽選会

愛天愛人愛国の家庭生活に役立ち家族に喜ばれるような賞品を選びすぎり、賑やかに抽選会を行いました。





コロナ禍で家庭の中で家族と過ごすことが多くなる時節柄、美味しい料理を作れる家電や空気清浄機があり、当選したご家庭に多くの天運を引き寄せ笑顔の花を咲かせることができました。

喜びあふれる姿に、今回惜しくも当選しなかった家庭も次回こそはと期待することができました。



## 「第61回真の子女の日」ならびに 「第33回宇宙統一国開天日」

初めて参加された方にも、真の子女の日、宇宙統一国開天日の意味をわかりやすいように教会長から説明していただき、精誠を尽くしてお捧げした祭壇のお供え物を参加者の皆様にプレゼントし、天運を各ご家庭に連結いたしました。

